

# さかいまち 議会だより

No. 176

平成28年11月1日発行

編集発行・茨城県境町議会  
広報編集委員会  
〒306-0495 境町391-1  
TEL. 0280-81-1316  
FAX. 0280-87-5873  
ホームページアドレス  
<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>



アルゼンチン共和国児童派遣事業に参加の長田小学校児童（アルゼンチン共和国大使館）

## 目次

議会活動..... P 2

第3回定例会議決事項..... P 3～4

一般質問..... P 5～8

## 議会活動

### 学校適正化配置調査特別委員会 視察研修

学校適正化配置調査特別委員会では、去る8月29日から30日の2日間、学校適正化配置の先進事例地である栃木県那須郡那須町教育委員会及び茨城県鉦田市教育委員会並びに行方市の「なめがたファーマーズビレッジ」を研修視察しました。

研修地である那須町及び鉦田市において、学校の統廃合を検討するうえで共通していた問題は、少子化による小学校の複式学級化、中学校における学年単学級校の増加であり、中学校においては各部署活動の存続にまで波及しております。

もう1つの問題点は、老朽化した建物の改修や耐震化の必要性であり、現状の施設を全て維持していくことは、財政運営に大きな負担となることが懸念されたこととでありました。

これらの諸問題を受け、那須町では平成19年1月に「那須町学校適正配置等検討委員会」が

設置され、翌年4月には「那須町学校適正配置等計画策定委員会」を設置・検討し、地域住民や保護者の方々からの意見や要望を十分に反映させ、計画を策定し公表したとのこととあります。



那須町役場

鉦田市においても、平成20年12月に「鉦田市学校教育施策検討委員会」を設置し、翌年12月には「鉦田市公立学校施設適正配置計画策定委員会」が設置され、この委員会において取りまとめられた答申が市へと提出され、この答申を踏まえ鉦田市として「鉦田市学校再編計画」を策定し進められたとのこととあります。

両市町とも、学校の適正化配置を検討するうえで、各学校の歴史と伝統、地域の方々の学校への思い入れや、コミュニティとしての役割等を考慮しながら、次代を

担う子供たちに、より良い教育環境を構築することを最優先に、協議を進めたとのこととありました。30日午後には、行方市において学校跡地を有効活用し運営されている「なめがたファーマーズビレッジ」を視察してきました。この施設は主に、行方市で生産されたさつまいもの加工処理を行っています。一般の方も見学や体験学習ができるよう校舎を改装してあることから、年間大勢の来場者で賑わっているとのこととありました。

今後も、境町における各校区の歴史や地域との関係を考慮しながら、児童生徒のより良い教育環境や学習環境、人間関係の構築など、様々な観点から学校の適正化配置に向け検討を進め、当委員会から町へ提言する考えであります。



なめがた  
ファーマーズビレッジ

### 友好交流都市調印式

佐賀県みやき町と境町の友好交流都市協定調印式が、去る9月26日みやき町において執り行われました。

両町は、昨年10月からPFI事業やふるさと納税推進事業について、互いに視察研修を行うなど交流を深めてまいりました。

地方創生が叫ばれている今だからこそ、相互理解と友情・信頼関係をより一層強化することにより、多方面にわたり先進的な取り組みを行っている両町の発展を促進するため、みやき町長・境町長による【友好交流都市協定】の調印がされました。



みやき町と境町の調印式

# 平成28年 第3回定例会

9月7日～9月15日（9日間の会期）

全議案・原案可決

## 決算特別委員会報告

開会初日（9月7日）本会議に提案された平成27年度境町一般会計及び6件の特別会計並びに水道事業会計の決算認定については、委員10名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、9月12日13日に開催され、慎重に審査をした結果いずれの会計とも認定すべきものと決定し、9月15日の本会議において委員長の報告のとおり、全会一致をもって認定されました。



決算委員会を進行する  
飯田 進 委員長

## 平成27年度各種会計決算状況

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
境町一般会計	95億8,059万5,095円	91億2,333万877円
坂東市外2か町公平委員会特別会計	91万2,105円	32万757円
境町国民健康保険事業特別会計	37億4,548万7,823円	36億9,386万1,149円
境町後期高齢者医療事業特別会計	3億9,615万9,749円	3億9,474万9,929円
境町介護保険事業特別会計	17億9,880万6,641円	17億5,022万8,374円
境町公共下水道事業特別会計	9億8,292万4,760円	9億6,764万8,391円
境町農業集落排水事業特別会計	2億4,604万8,089円	2億2,359万8,825円
合計	167億5,093万4,262円	161億5,373万8,302円

## 平成27年度水道事業決算状況

水道事業会計	収益的収入	収益的支出
	5億7,994万6,681円	5億9,311万9,629円
	資本的収入	資本的支出
4,986万1,143円	4,532万2,134円	

## 監査報告

平成27年度境町一般会計及び6件の特別会計並びに水道事業会計については、監査委員の決算監査が行われ次のとおり報告がありました。



決算報告をする  
山本 隆行 監査委員

### ○一般会計及び特別会計

審査に付託された各会計の決算書類は、いずれも地方自治法、その他関係法令に準拠して作成されており、かつ決算書に計上されている諸係数は、関係諸帳簿及び証憑書類と符合し、正確であると認めらる。

平成28年8月25日

境町監査委員

山本 隆行  
斉藤 政雄

○水道事業会計

審査の結果、帳票は正確に記録されており、諸表の計算も非違もなく、当該年度の事業執行について、すべての財源とその使途及び年度末における財政状態を適正に表示しており、合法かつ正確と認める。

平成28年5月25日

境町監査委員

山本 隆行  
齊藤 政雄

専決処分

○工事請負契約の締結について

・契約の目的  
(緊急災害)H27国災染谷川  
排水機場本復旧工事

- ・契約の方法  
指名競争入札
- ・契約金額  
9千4百98万6千円
- ・契約の相手方  
株式会社荏原製作所 東京支社
- 支社長 緒方潔

その他の議案

○土地改良事業の計画について  
境町大字百戸地内において、町が事業主体となり土地改良事業の排水路改修工事を計画するもの。

土地改良事業概要

- ・排水施設起点・終点  
大字百戸字中坪1715番地先々同所47番1地先
- ・排水施設の構造  
排水フリューム600×600
- ・延長 235メートル

○道の駅さかいの指定管理者の指定について

- ・施設の名称  
道の駅さかい
  - ・指定管理者となる団体の名称  
株式会社さかいまちづくり公社
- 財産の取得について  
消防ポンプ自動車

条例改正

○境町ふるさとづくり寄附条例の一部を改正する条例案

ふるさと納税の寄附対象事業を拡大し、条例の目的である夢のある個性豊かなまちづくりを実現するため、条例の一部を改正するもの。

人事案件

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

再任 境町塚崎  
小野里 光男

再任 境町金岡  
稲垣 英世

請願・陳情

○教育予算の拡充を求める請願について

請願者

水戸市笠原町978番地46

茨城教育会館2階

茨城県教職員組合

代表 吉田 豊

○「まもなく40年を迎える東海第二原発の20年延長の申請をしないように求める意見書」提出の請願書について

請願者

境町塚崎77番地10

「9条の会さかい」

世話人代表 大竹 勉

境町伏木847番地

「ママごと会」

代表 小久保 弓

意見書の提出

○教育予算の拡充を求める意見書

提出先 内閣総理大臣ほか4名

○「まもなく40年を迎える東海第二原発の20年延長の申請をしないように求める意見書」

提出先 茨城県知事

補正予算

専決第9号 平成28年度境町一般会計補正予算(第5号) (専決処分の承認)

会計	予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計	91億6千763万円	455万4千円	91億7千218万4千円

議案81~86号 平成28年度境町各種会計補正予算

会計	予算現額	補正額	補正後の金額	
一般会計	91億7千218万4千円	8千847万1千円	92億6千65万5千円	
特別会計	国民健康保険事業	36億6千141万5千円	145万1千円	36億6千286万6千円
	後期高齢者医療事業	3億9千867万6千円	29万5千円	3億9千897万1千円
	介護保険事業	18億331万7千円	5千193万7千円	18億5千525万4千円
	公共下水道事業	9億2千910万円	2千633万円	9億5千543万円
	農業集落排水事業	2億3千992万8千円	3万8千円	2億3千996万6千円

# 一般質問

8人の議員が登壇しました

議席13番

木村 信一 議員



○学校教育について

**Q** 現在の中学校における部活動の実態について。

**A** 体育系では、一中が14部、二中は10部です。文科系では、一中が3部、二中は2部です。

(教育長)

**Q** 部員の減少により休部せざるを得ない部があると聞いているが将来的な町の考えは。

**A** 一中では、女子バスケットボール部で休部状態、サッカー部でも試合に参加する部員が確保できない状況です。

二中では、野球部員が3名で、昨年から隣の五霞中との合同チームで主に土曜日曜を利用して活動している。なお、柔道部は、休部状態となっている。

将来的な考え方は、現在、境町議会で学校適正化配置調査特別委員会を立ち上げているところであ

りますのでその結果を受け、検討したいと考えている。現在では規定に当てはまらないので、一中、二中では合同チームは組めない。

(教育長)

○観光協会について

**Q** 「本年度より観光協会を、まちづくり株式会社に移行する」と聞いているが現状は。

**A** 9月1日に「株式会社さかいまちづくり公社」を設立しました。道の駅さかいの財政管理と運営管理の健全化を図るため観光協会の事業をまちづくり公社へ移管するものである。(まちづくり推進課長)

○冠水対策について

**Q** 「境警察署から南側の地域については、専門家と協議をして雨水排水計画をたてる」と聞いているが現状は。

**A** 雨水排水計画については5月にコンサルタントと業務委託契約を締結し、都市下水道や染谷川で浸水した家屋等の現状調査を再度行ったところである。

市街地の浸水対策や慢性的な道路の冠水箇所の解消に向け、整備費用の算出を含め施設の配置計画を立案し、10月に再度、関係機関と協議を行い、年内に計画を策定

する予定である。

(参事兼防災安全課長)

議席1番

山田 正樹 議員



○境町親子ふれあい館について

**Q** 利用状況等現況は。

**A** 平成24年4月に開館して以来、延べ48,770人のお子さんと保護者の皆様の利用がある。

(子ども未来課長)

**Q** 今回の質問にあたり、実際に現場の視察や利用者の声を聴いて、改善点、要望が多数あり、参考のため古河市の駅前ヤンチャ森も視察してきたが、こちらでは殆どクリア出来ているので今後の課題として検討頂きたい。

**A** 抜本的な改善が必要で今後検討して行く。(町長)

○国際交流について

**Q** 当町における取組は。

**A** 本年4月に人権・協働ハーモ

二課を立ち上げ、その中に国際交流係を設け、教育、文化、スポーツなど幅広い分野での国際交流を目標に事業を推進している。

(人権・協働ハーモニーク課長)

**Q** つくば市にJICA筑波というのがあり、小・中・高校生を対象に様々な国際交流事業を行っている。当町でもつくば市とタイアップするなど、子供たちを育てるために検討していただきたい。

**A** JICA筑波を先日、視察してきたが、外国人が沢山おり、会話や衣装などまるで外国のようであった。今後校長会などで研修すると共に、ランチミーティンなどJICA筑波のプログラムを活用出来るよう検討したい。

(教育長)

**○境町ホストタウン推進協議会について**

**Q** 現況は。

**A** 2回ほど開催し協議を行っている。今後は、交流計画に沿った様々な事業を展開し、町のオリピック・パラリンピック、事前キャンプ地誘致の機運醸成を図って行く。(理事兼企画経営課長)

議席12番

内海 和子 議員



**○女性の活躍について**

**Q** 境町での女性参画率はどのようになっているか。

**A** 女性活躍推進法に基づき、境町特定事業主行動計画を策定し、女性職員採用や管理職登用の目標を定めるなど、積極的に推進している。課長補佐以上の管理職で、平成25年に4名、7%であったのが、平成28年では11名、17%に増加している。今年は県など6名派遣している。引き続き優秀な女性職員採用と研修などにより管理職への育成・登用を進めていく。また、男性職員の育児参加を推進するなど、女性が働きやすい職場環境作りに努める。

(参事兼総務課長)

**Q** 女性がかかわることが多い各種のボランティアでポイント制度を導入し、高齢者の健康と生きがいづくりにはどうか。

**A** 町民の健康づくりの推進を図るため(株)DHCと包括連携に関する協定を締結したので、健康マイレージ事業の実施に合わせて検討していく。

(福祉部長)

**○防災について**

**Q** 昨年の境町での大水の検証はされたのか。

**A** 7市町のヒアリングなどあり、初動など対応は適切と評価された。ハザードマップの見直しも行った。現在は群馬大学の片田教授に外部からの検証を打診している。

(参事兼防災安全課長)

**Q** 庁舎での防災訓練の計画はされているか。

**A** 見直している地域防災計画の中で初動マニュアル等の見直し完了後庁舎での防災訓練を検討していく。(参事兼防災安全課長)

議席9番

須藤 信吉 議員



**○準用河川染谷川冠水対策の進捗について**

**Q** 河川除草作業について。

**A** 例年、年1回除草作業を行っている。(建設農政部長)

**Q** 日本板金西側河川(コルゲート管)対策について。

**A** 現在、コルゲート管が埋設してある箇所については、河道を新たに西側に設ける計画となっている事から、下流より整備を進めて行く。(建設農政部長)

**Q** 旧若境線の橋梁架設について。

**A** 県が進めている都市計画道路松岡町上小橋線の整備と関連する事から、県と協議を鋭意進める。(建設農政部長)

**○圏央道周辺開発について**

**Q** 第一地区(猿山・蛇池)開発の進捗状況について。

**A** 平成27年7月「猿山・蛇池地区開発事業地権者協議会」を結成し進めている。(企業立地推進室長)

**Q** 第二地区(長井戸・蛇池)開発の進捗状況について。

**A** 平成27年10月に「土地区画整理組合設立準備会」を結成し、本

年3月には業務代行者として決定した大和ハウス工業(株)と事業推進に関する覚書を締結するなど、事業認可にむけた取り組みを進めている。

(企業立地推進室長)

### ○公園維持管理について

**Q** さくらの森パーク(管理 建設課)、さくらの丘公園(管理 生涯学習課)共に雑草が伸びているが。

**A** 公園、施設の管理等については、縦割りではなく横の連携がとれる施設管理を抜本的に検討して行く。(町長)

### 議席4番

櫻井 実 議員



### ○心配いと相談所について

**Q** 相談はどのように実施しているか。

**A** 毎週火曜日午後一時より幅広い年齢層の方から、年間約15件の様々な相談が寄せられている。相

談内容によっては、専門機関を紹介している。土日の相談日の開催についても検討したい。

(参事兼介護福祉課長)

**Q** 電話による相談は、どのように実施しているか。

**A** 足を運ばれてくる方の相談がほとんどである。電話での相談も今年度1回実施している。

(参事兼介護福祉課長)

### ○防災・減災対策について

**Q** 災害の類型によっては、自治体への避難が求められるがどのように対策を講じているか。

**A** 町内の各小中学校、文化村、勤労青少年ホーム等を避難所に指定している。利根川が決壊すると町内の避難所では足りないことから町外避難所として坂東総合高校と協定を締結し、現在、総和工業高校を町外避難所として指定できるように準備を進めている。さらに本年12月の広域避難計画の策定完了を待って、避難所確保や対策を進める。

(参事兼防災安全課長)

**Q** 避難所となる体育館等施設の冷暖房化をどのように考えているか。

**A** 勤労青少年ホームの体育館は冷暖房完備している。また各小中学校の教室にも、すでに整備されており、これを活用したい。財政的な問題もあり、体育館の冷暖房化の予定はない。

(参事兼防災安全課長)

### 議席10番

田山 文雄 議員



### ○防災対策の取り組みについて

**Q** 関東・東北豪雨災害から一年になるが、当町における現状と今後の取り組み、また、被災者台帳「被災者支援システム」、「災害支援タスクフォース」の当町における考えについて。

**A** 豪雨災害の教訓を活かし、ハザードマップの改正を行うと共に、広域避難所計画の策定や町広域排水計画の策定を進めている。県と連携を図りながら対応していきたい。

(参事兼防災安全課長)

○夜間中学校の設置促進に関する取り組みについて

**Q** 学校の教育的配慮によって卒業した、形式卒業者等に学び直す機会の提供が求められ、取り組みとして夜間中学校の設置があるが、当町の考えについて。

**A** 当町においては、夜間中学校ではなく、住民ボランティア等有志が中心となって、生涯学習施設を利用して広く学習の機会や場を提供したいと考えている。

(学校教育課長)

### 議席2番

青木 輝明 議員



### ○サッカー場の施設について

**Q** 町のサッカー場は、人口芝を含む近代的な施設であり、多くの方々が利用されています。町としても、環境整備に細心の注意を払い管理運営に取り組んでいると思います。

改修後の利用状況についてお伺いします。

**A** 本年5月7日のリニューアルオープン後、4カ月が経過し、現在のところ平日の夜間、土曜日、日曜日は予約で埋まっている状態です。

利用者からは予約に関する問い合わせも多く、大変盛況な状況です。  
(生涯学習課長)

**Q** サッカーボールが度々防球ネットを越えてしまうと地元の方から聞きましたが、今後、改修等の計画があれば伺いしたい。

**A** ボールが道路等に飛び出すことに起因する事故等があつてはならないので、全体を改修することは難しいが、前向きに検討したい。  
(町長)

### ○移住・定住促進について

**Q** 圏央道開通に伴い、都心方面へのアクセスが容易になり交通網も着実に整備されてきています。

境町の「移住・定住」につながる取り組み、また、人口推移についてお伺いしたい。

**A** 当町の人口については、平成6年の27,619人をピークに人口減少が続き、平成27年度は199人減少するという状況にありましたが、奨励金制度や子育て支援などの充実により、本年7月

は23人、8月にも11人の人口増加となり、明るい兆しが見えつつあるものと考えています。

また、今後の取り組みについては、平成29年1月に、本格的な稼働を開始する、日野自動車・古河工場へ異動する従業員及び家族の移住を図る取り組みなど、更に推進していきたい。  
(理事兼企画経営課長)

### 議席6番

飯田 進 議員



### ○町の財政状況について

**Q** 財政健全化判断比率について、将来負担比率・公債比率等の現状及び今後の現状並びに今後の見通しについて。

**A** 現状については、将来負担比率は前年度より19.1%減の152.4%、実質公債比率は0.4%減の15.7%減となっております。今後の見通しについては、将来負担比率については、平成25年度の184.1%から平成26年、

27年度の二年間で31.7%減と大幅な改善が図られたところであります。

また、平成28年度の将来負担比率についても引き続き減少し、140%台と見込んでいます。今後もより一層の財政健全化に努めていきたいと考えています。  
(理事兼企画経営課長)

### ○土地開発公社経営支援補助について

**Q** 町からの利子補給について。

**A** 土地開発公社は、町の委託に基づき、公共用地の先行取得や都市計画道路等の用地取得に伴う代替え地取得事業を行い、公共事業の円滑な推進に寄与してきました。しかし、バブル期以降の地価の下落や、土地取得のための多額の借入金の利子負担などにより、公社の経営が大変厳しい状況となったことから、町は平成18年度から、経営支援補助金として借入金の支払利息分を交付してきたところであります。

この度公社では、8月31日付で借入金の借り換えを行い、年利率2.1%から0.141%とし、今後二年間で支払利息の総額は670万円から45万円となり、町の負担軽減額は合計625万円に

なります。  
(総務部長)

土地の買取りについても町の財政状況が改善してきているので、計画どおり買取できるようなっている土地だけでなく町が保有している土地についても、議会の皆様と活用の検討などをしっかりとやっていきたい。  
(町長)

### 表紙について

長田小学校では、アルゼンチン共和国大使館との交流が今年83年目を迎え、さらなる交流を深めることを目的として、児童をアルゼンチン共和国に派遣する事業です。

### ◎広報編集委員会

委員長	山田 正樹
副委員長	青木 輝明
委員	斉藤 政雄
委員	内海 和子
委員	渡邊 昇